

宇都宮市 学校 情報教育 だより

＝学校に求められる，計画的な情報モラル教育への取組＝

平成22年4月に「宇都宮市情報モラル教育年間指導計画」を作成し，系統的な情報モラル教育の実施をお願いしているところですが，近年，スマートフォンやゲーム機等に関わるトラブルの増加が問題となっていることから，平成25年度の情報モラル対策チームの活動で，新たに下記に示す6種類の補助資料を作成し，平成26年5月8日付事務連絡（教育委員会掲示板NO5495）で全校へ周知いたしました。

- ①犯罪被害 「犯罪被害に巻き込まれないために（小学校用）（中学校用）」
- ②スマートフォンと携帯電話の違い 「スマートフォンと携帯電話を比べてみよう！」
- ③違法行為 「絶対にいけない！ネット上の違法行為」
- ④無料通話アプリ 「アプリでつながるって，楽しいことだけ？」
- ⑤ゲームに関わるトラブル 「ゲームに関わるネット上のトラブル」
- ⑥ネット依存症 「ネット依存症になっていませんか？」

平成26年度の情報モラル対策チームの活動では，これらの補助資料を使って，「朝の会や帰りの会，学年集会」等に情報モラルの指導を行いましたので，その実践の様子を紹介します。

【平成26年度 情報モラル対策チームメンバー】

①豊郷中央小学校 教諭 岡田信行（情報教育主任）	②横川中学校 教諭 齋藤弘明（生徒指導主事）
③娑川中学校 教諭 上野浩孝（情報教育副主任）	④御幸小学校 教諭 市原敬之（児童指導主任）
⑤瑞徳野北小学校 教諭 石川 雅章（情報教育副主任）	⑥宮の原中学校 教諭 武田玄（情報教育主任）

犯罪被害（小学校）
別紙

犯罪被害に巻き込まれないために

携帯電話やスマートフォンを利用する際には，楽しく便利なことばかりではなく，様々な危険が伴います。「知らなかった」ことにより，犯罪に巻き込まれ被害者となってしまった事例が多く報告されています。

コミュニティサイトで実際にこんな犯罪が起きています。

画像がネット上に流出するおそれがあります
コミュニティサイトで知り合った会ったことのない人に，自分の画像を送り悪用された。流出した画像を完全に削除するのはとても難しい。

犯人は，氏名，年齢，職業，性別等を偽って近づいてきます
アイドルグループのメンバーと自称し，コミュニティサイトで知り合った小学生の女の子に，わいせつな行為をした。

掲示板を利用して近づいてきます
IDを気軽に交換できるサイトを利用して「友達探し」にまぎれて出会いを求めてきます。
IDは大切な自分の情報なので，簡単に教えてはいけません。

アプリ等を悪用して，こんな犯罪が実際に起きています。

ワンクリック詐欺
小学生の男の子が，興味のある商品を見ようとしてワンクリック詐欺にひっかかり，高額なお金を払うよう求められた。

個人情報のぬき取り
アプリにウイルスを組み込み，公式アプリマーケットからこのアプリをダウンロードした多くの利用者から，登録している電話番号やメールアドレス等の個人情報をぬき取った。

GPS情報の悪用
自宅で撮った写真を不用意にSNSへ投稿してしまうと，同時に知らない人にも自宅の場所を教えることになり，ストーカー等の犯罪につながるおそれがある。

ポイント

ネット上の情報は，相手の顔が見えません。うその情報を見極めるのは大人でも難しいものです。相手を信用して自分の写真を送ってしまう。実際に会いに行くと犯罪の被害に巻き込まれるなど，危険がひそんでいます。
コミュニティサイトやアプリの中には様々ななやっかひがあることがあるので十分に注意しましょう。

平成25年度情報モラル対策チーム作成 補助資料

スマートフォンと携帯電話を比べてみよう！

近年，スマートフォンの利用者が増加しています。従来型の携帯電話とスマートフォンの違いや特徴を知ったうえで，利用することが大切です。
では，スマートフォンと携帯電話を比べてみましょう。

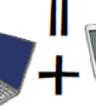


主な機能：通話，メール，カメラ機能，携帯会社専用のネットやアプリの利用（他の機種では利用できない）



主な機能：通話，メール，カメラ機能，インターネットの利用（動画サイトを視聴できるなどパソコンと同じ），アプリ（インストールして利用する）

+



スマートフォンは，パソコンに通話機能がついていると考えるべきですね。
ということは・・・

スマートフォンを利用する場合，より専門的な知識が必要になります。ウイルス対策や機器の設定など，機械まかせにしておく，思わぬ落とし穴にはまってしまう。
スマートフォンを利用する前に，自分に十分な知識や技能が身に付いているか確認しましょう。

◆無料アプリに要注意
「無料」アプリは，なぜ無料なのか，考えてみたことはありますか？
あなたの端末内に保存されている個人情報と引き換えに「無料」なのかもしれません。また，正規のアプリケーション配布サイトに掲載されているアプリであっても，監視や審査を逃れて不正なアプリが紛れ込んでいる可能性はゼロではありません。

ポイント

スマートフォンは，通話機能のついたパソコンと考えるべきです。
通話やメールの利用が中心の携帯電話と，インターネットやSNS，ゲーム，音楽など多くのサービスを受けられるスマートフォンとの違いを理解することが大切です。
また，スマートフォンを利用するときは，ウイルス対策やフィルタリングなど，安全対策についての知識が携帯電話以上に必要であり，正しい設定を行う必要があります。

平成25年度情報モラル対策チーム作成 補助資料

絶対にいけない！ネット上の違法行為

「ちょっとした悪ふざけのつもり」「違法性を知らなかった」「ばれなければいい」などの理由から、ネット上で法律に反する行為をしてしまう人が増えています。

やっついでいいこと？ わるいこと？ ○か×で答えましょう。

NO	Ox	問題
①		CD、DVD、ブルーレイまたはインターネットで販売されていると知りながら映画やテレビ番組、アニメや音楽などをダウンロードした。
②		好きなアーティストの歌詞を個人のブログに掲載した。
③		授業の調べ学習で、ネット上にあった写真や記事を使って新聞を作成した。
④		動画投稿サイトやSNSに悪ふざけの写真や度が過ぎたコメントを投稿した。
⑤		他人のユーザー名、パスワードを使って、ネットワークに侵入した。

①×
違法にアップロードされたと知りながら、音楽や映像をダウンロードすることは法律違反です。2年以下の懲役もしくは200万円以下の罰金またはその両方が科せられます。

②×
歌詞も音楽の著作物とみなされているため違法です。

③○
児童生徒が、授業でインターネット上の写真や記事をコピーして使う際は、著作権者の許可をもらう必要はありません。ただし、作った新聞をネット上に掲載したり配布したりする場合には、授業の範囲を超えることから許可が必要となります。

④×
軽犯罪法違反で罰せられます。その後、食品販売店が閉店に追い込まれたり、従業員が解雇されたりする事例が続いている。

⑤×
不正アクセス禁止法により罰せられます。違反した者は、3年以下の懲役又は100万円以下の罰金が科せられます。

ポイント

学校や社会の中でも、インターネットの中でもやっついでいいこと、悪いことの判断をきちんとしましょう。**他人に迷惑をかける行為、他人の物を盗む行為は、インターネット上でも犯罪です。モラル意識の向上に努めましょう。**

アプリでつながるって、楽しいことだけ？



無料通話アプリとは、スマートフォンなどにダウンロードして、簡単にメッセージの交換や通話ができるようになるアプリケーションのことです。基本的に携帯各社のデータ通信料金の範囲内で追加料金なしで使用でき、メッセージアプリと呼ばれることもあります。代表的なものとしては、「LINE」、「カカオトーク」、「com」、 「Skype」、「Viber」などがあります。

ポイント

無料通話アプリは、友だちや家族と楽しく会話や電話ができるものですが、間違った使い方をするとう大きな事件やトラブルにまきこまれてしまうことがあります。使用する場合は、人を傷つけない、個人情報などをせないなどの、ルール（法律）やマナーに気を付け、自分を守るための方法（設定の仕方など）を考えながら、使うようにしましょう。

ゲームに関わるネット上のトラブル

ハード機とソフトをあらかじめ購入するのではなく、パソコンや携帯電話によるインターネット環境があれば無料でできる「ソーシャルゲーム」や、無線LANによる「インターネット接続機能を有するゲーム機」で遊ぶ子どもが増え、様々な問題が報告されています。

ソーシャルゲーム・・・GREE、Mobageなど、LINEやパズル&ドラゴンズなどを含むこともある
ネット接続機能付きゲーム機・・・任天堂DS、Wii、PSPなどのゲーム機でも「ソーシャルゲームが可能」

「無料」の誘惑と落とし穴

初めは無料で始めたゲームも、難しいイベントをクリアしたり、短い時間でレベルアップしたりするため、有料のアイテムを使いたくなります。また、クレジットカードがなくても、コンビニ等で課金するためのプリペイドカードを簡単に買うことができます。

アイテム等の料金

一つ一つのアイテムの料金は百円程度だが、まとめて購入することで割引が得られることもあります。始めは、小遣い程度で済むが、次第に高額なアイテムを買いたくなります。タップするだけで買物ができてしまう便利さの裏に、金銭感覚が壊れていく怖ろしさを知りましょう。

短時間でプレイ、リアルタイムのイベントも

スマートフォンなどのゲームは、短い時間ずつ何度もプレイするスタイルのものが多くが特徴です。「先着順」や、「ランキングの上位」だけに与えられるアイテムなどの報酬があり、他人よりもゲームで上位を取りたい、常にゲームをしたいという気持ちにさせるものが多くあります。

ネット依存症に注意

通信機能を使ってリアルタイムで友達と協力したり、対戦したりすることができるものもある。自分だけ参加しないと仲間外れにならないかと心配になることもある。途中で止められなくなったり、ゲームが気になって他のことが手につかなくなったりするネット依存症には、注意が必要です。

オンライン上での、悪口やいじめ、トラブルに注意

相手が傷つくことや、個人情報などはネット上では減らないようにしましょう。ネット上の付き合いは、ほどほどに。現実の交友関係を最優先しましょう。

ポイント

ソーシャルゲームは、基本プレイが無料でも有料アイテムを購入したくなるわながあることがあるので、注意しましょう。必ず家の人と相談してから、利用するようにしましょう。また、最近のゲーム機の多くは、無線LANなどを通じてインターネットに接続できる機能を持っています。有害サイトの閲覧、ネットトラブル、ネットいじめなど、パソコンと同様またはそれ以上のリスクがあることも頭に入れておきましょう。

ネット依存症になっていませんか？

ネット依存症とは、インターネットをやめようとしても自分ではそのコントロールができません、ネットをしていないと不安になったりイライラしたりしてしまう状態のことをいいます。なかなか止められないという点では、アルコール依存症などと同じです。

心や体にはどんな影響があるのですか？

- 睡眠不足など日常生活に支障をきたすようになる
- 勉強が手につかなくなる
- 目が悪くなった、頭痛や肩こりで悩まされたりする
- うつ病や心身症を引き起こす原因になる
- 現実の人間とのコミュニケーションができなくなるなどの影響があります。

どうしてなるのですか？

- オンラインゲームなど楽しいコンテンツにはまる
- SNSなどコミュニケーションツールにはまる
- 動画サイトにも夢中になる
- 現実から逃避したい心理状況などから、過度に利用するなど様々な理由があります。

克服の方法はあるのですか？

ネット依存の改善法として、専門家は、「使った時間の記録をつける」「ネットの代わりにできる活動を見つける」などをあげていますが、症状が重い場合は、医療機関への相談が必要になります。

チェック	ネット依存症チェック表
	予定していたより長時間ネットを利用してしまおう。
	ネットを利用していない時も、ネットのことを考えてしまおう。
	ネットを利用していないと、落ち着かなかったり、憂うつになったり、落ち込んだり、いらいらしたりする。
	ネットの利用時間を減らそうとしても失敗してしまおう。
	長時間ネットを利用していないと満足できなくなっている。
	落ち込んだり不安やストレスを感じたりしたとき、逃避や気晴らしにネットを利用している。
	ネットの利用が原因で、家族や友人との関係が悪化している。
	ネットを利用している時間や熱中している度合いについて、ごまかしたり嘘をついたりしたことがある。

※8項目のうち5項目以上にチェックが入ったら要注意！

ポイント

身体の健康のためにも、ネット利用を抑え目にしましょう。また、ネット依存の背景には、友人関係や親とのコミュニケーションが関係しています。現実の世界における良好な人間関係を大切にネット依存にならないようにしましょう。

□ 犯罪被害に巻き込まれないために

〈朝の学活 15分〉 豊郷中央小学校 5年



携帯電話やスマートフォンを利用する時には、楽しく便利なことばかりでなく様々な危険が伴っていることについて、配布資料「犯罪被害に巻き込まれないために！」とスズキ教育ソフト「あんしん・あんぜん情報モラル」の動画教材等を活用して、説明しました。

配布資料により、コミュニティサイトやアプリ等を悪用して、様々な罠や仕掛けがあることに気づき、犯罪に巻き込まれる危険が潜んでいることを理解することができました。

□ スマートフォンと携帯電話を比べてみよう！

〈朝の学活 15分〉 横川中学校 1年



携帯電話を使うときのルールやマナーについて、配布資料「スマートフォンと携帯電話を比べてみよう！」とスズキ教育ソフト「あんしん・あんぜん情報モラル」の動画教材等を活用して、説明しました。

配布資料により、携帯電話とは違うスマートフォンの高度な機能を理解するとともに、無料アプリ等に対するフィルタリング設定の必要性を再認識することができました。家庭の実態に沿った動画教材を併せて視聴することで、約束を守ろうとする意識を一層高めることもできました。

□ 絶対にいけない！ 違法行為

〈朝の学活 10分〉 姿川中学校 1年



著作権や違法行為に関わるルールやマナーについて、配布資料「絶対にいけない！ 違法行為」を活用して、生徒に考えさせました。

配布資料に○か×で答えさせた後、解答用紙を配布し補足説明を加えました。「アーティストの歌詞を載せることがダメと初めて知って驚いた。自分がやらないように気を付けたい。」「意外と知らない法律があったのでびっくりした。ちゃんと守っていきたい。」などの感想を書いていた生徒が多くいたことから、早い時期にきちんと学ばせる必要性を感じました。著作権等について考えさせ、正しい知識を教えることができました。

□ アプリでつながるって、楽しいことだけ？

〈学級活動 45分〉 御幸小学校 6年



無料通話アプリ（SNS）の安全な使い方について、配布資料とパワーポイントを併せて使用し、授業を行いました。

児童は、無料通話アプリに潜む危険性を理解するとともに、楽しく使うためには「ルール作って、みんなで守る」「マナーを守って、相手の気持ちを考える」「危険を回避するための設定をする」ことが必要であることに、気づくことができました。話し合いを通して、児童一人一人が、自分のこととして考えを深めることができました。

□ ゲームに関わるネット上のトラブル

〈朝の活動 15分〉 瑞穂野北小学校 6年



ゲーム機をインターネットにつなぐときや、ソーシャルゲームなどをするとき、配布資料「ゲームに関わるネット上のトラブル」を活用して、説明しました。

配布資料により、無料で簡単にできるゲームにもアイテム等の課金のシステムがあることやネット依存症の危険もあることについて説明し、ルールを守ってゲームをすることの大切さについて、児童の意識を高めることができました。

□ ネット依存症になっていませんか？

〈朝の活動 15分〉 宮の原中学校 3年



「ネット依存症」について、どういう症状なのか、また、原因や影響、克服方法について、配布資料とパワーポイントを活用しながら明示し、考えさせました。

生徒は、ネット依存症ということについて詳しく知るとともに、自分の生活に置き換えて考えることができました。また、「ネット依存チェック表」を活用し、自分の状況を把握することで、生活の中におけるインターネットの活用について、節度ある使用を心がけることの大切さを認識することができました。